

# お西さん

通巻138号  
平成6年11月1日発行

## 慶びのご親修

さる十月二十日・二十一日の法要は、まことに有難いご縁でありました。

ご繁忙のなか、わざわざご来道賜わり、平成六年度の報恩講を、ご門主さま直々にご親修下さいました。

ご門主御導師のもと、厳肅莊重な儀式作法が執り行われ、道内各別院ご輪番をはじめ數十人の関係法中方出勤により、朗々と響く読経の声が堂内に満ち溢れました。

まさしく浄土の莊嚴を眼のあたりにして、本堂を埋めた参詣者に感動の渦を起し、胸熱く感涙にむせぶ人もいました。この慶びは、きつといつまでも心に残り、お念仏申す日々

に伝わりつづけることありましょう。そして法要あとの門信徒の集いでは、近く直かにご門主さまを拝し、身近かな親しみを覚えた人々も多かったろうと思います。前半は少し固苦しい雰囲気でしたが、そのうち堂内に笑いの声が洩れると、不思議に和やかさが深いはじめ、いままで速くはるかに仰ぎ見た雲の上のお方、ご門主さまとの距離がぐううんと縮まりました。

このご法縁を深く喜ばせて頂くとともに、末ながく仏法聴聞の励みとして私のうちに生きつつけるなら、それこそご門主さまのお心に添う意義あるものとなりましょう。

輪番 佐々木 俊朗

12月の  
お知らせ

12月28日・29日・30日は、院内「お煤払すすはらい御本尊御身拭の為」月忌参りはお休みさせていただきます。



## 西本願寺函館別院

函館市東川町12番12号 ☎(0138)23-0647



お西さんしあわせ電話

ちょっと耳をかたむけてみませんか

0138 27局 2424番

聞こう//学ぼう//味わおう//24時間いつでもどうぞ。

- 11月5日出〜11月11日歸…山岸 承 仕
- 11月12日出〜11月18日歸…石丸 承 仕
- 11月19日出〜11月25日歸…黒田 承 仕
- 11月26日出〜12月2日歸…利国 主任
- 12月3日出〜12月9日歸…神田 参 勤
- 12月10日出〜12月16日歸…小笠原承仕
- 12月17日出〜12月23日歸…芝田 参 勤
- 12月24日出〜12月30日歸…副 輪 番
- 12月31日出〜1月6日歸…輪 番

イノベーター上人が、やって来た。

'98 蓮如上人ビッグフェスタ

500

RENNYO-SHONIN BIG FESTA 500

―計報に接して―

八雲の西教寺様の報恩講の御座で、以前別院の職員だった深瀬師の死亡の知らせを聞かされた。

その在職中に住んでおられた役宅には、四人の子供の成長をながめた背くらべのキズが柱にある。

夜、そのキズをまじまじとながめた。言葉にならない思いが胸にこみ上げてきた。

毎月お参りさせて頂いて、日吉町の熊谷さん、日増に寒さが厳しくなりますね。

私がいつも帰るときに、外まで送りに来て頂いて、しかも、クルマのバックミラーからその姿が消えるまで頭を下げておられる姿勢には、ほんとうに頭がさがります。(上)

毎晩七時頃になると鹿見島の娘さんお孫さんから電話がかかってくるという湯川の榎波さん。

「特に何を話すという訳でもないんだけどね」と言われますが、その顔は、とても幸せそうです。心が、ホッとして暖まると同時に、自分も見習わなければいかんと思うお話でした。又、会える日が待ち遠しいですね。(小)

堀川町の河内コトさん。婦人会、そして班長さんと、お寺の手助けをしてくれてありがとうございます。(徳)

報恩講もそうじにお茶にと走っていました。本当に助かりました。(徳)

海老原町の上坂はぎのさんは百歳をたれまして十月一日ご往生いたされました。「本当に心優しいおばあちゃんでした」。ご遺族、そして仏教婦人会のみなさんがおっしゃいます。百年間の人生、たくさんの教えを残し、そして最後にはお念仏の教えをみなさんに残して下さいました。おばあちゃん南無阿彌陀仏と手を合わすたびいつでも一緒に。(芝)

宮前町の味方さんは、御親修報恩講で帰敬式を受け涙が出るほど感激したそうですが、帰敬式を受けてほんとうによかったですね。その感激で出た涙をパネとしてこれから精進してください。それから寺にお参りをするのも忘れずに。(利)

宝来町の野村さん、いつもお仏壇をきれいにおそうじをしてお参りされています。お仏壇が、ほんとうにきれいで気持ちよくお参りさせて頂けます。これからもお体に気をつけて仏様へのお給仕して下さい。(神)

「帰敬式を受けられてはいかがですか」と勧めると「ええ、でもねえ」とずいぶん悩んでいらつしやうた、新川町の金谷美江さん。「以前おばあちゃんが、おかみそりを受けた時、ご門主様に触れていたいただいたのがもったいないと言って、髪の毛をしばらく洗わなかったのよ、それがすごく印象に残っていてねえ」としみじみ話してくださいました。でも、今回受式されて本当によかったですね。おめでとうございます。(山)

中道二丁目にお住まいの中川さんは、習字の先生をしておられ、先日退職した窪田さんもお世話になっていました。私が「習字を習いたいのです、が、ひどい悪筆です」と言うと、中川さんが「最初から上手な人はいません。下手だから習うのよ、今度習いに来なさい」とおっしゃいました。本当にその通りですね。報恩講も終わりましたし、私も習字を習いに行こうと思っております。(山)

総勢一〇七人の方々がこのたび、おかみそりを受けられました。これをご縁に皆さん本堂へお参りください。(石)

こんには布教使さん



大阪市 専龍寺 佐々木覚朗 先生

Q、函館の印象はどうですか？

風光明媚な函館とともに、別院のおつとめのすばらしさが心に残りました。楽の音色とおごそかな声がよく調和してまさに、お浄土からの微妙音に聞こえたほどです。

仏徳讃嘆のおつとめは、そのまま説法であると知らされたことです。

Q、先生の出身地の良さを教えてください。

大阪の河内というところ、どうも柄が悪いというイメージが先行しているようです。たしかに口は悪いのですが、その分情にはもろいのです。まあ、輪番さんをイメージしていただければ遠からずというところでしょうか。

Q、門信徒の皆さんへメッセージをお願いします。

致します。

お彼岸の一週間、みなさんに大変お世話になり、ありがとうございます。

このたびの御法縁で、北海道は私にとって、たいへん近くなりました。

これからも、お互いに聞法を大切に続けさせていただきますように。

ご協力ありがとうございました。

(係より)

先生は、ご輪番の弟さんですが、タイプが全く違います。でも、さすが兄弟、お酒好きは一緒でした。又のお越しをお待ちしております。

# 成道会

とき／平成6年

11月10日(木)午後1時

ところ／函館市民会館

大ホール

主催／函館市仏教会

函館市仏教保育協会

後援／函館仏教児童教化連盟

函館仏教青年会



各会  
報恩講のご案内

婦人会報恩講

11月23日(水)午後一時より

本院にて

法話 輪番

三合同報恩講

(壮年会・覚信尼会・青年会)

12月16日(金)午後6時より

本院にて

法話 輪番

おしゃかさまのざとりを  
たたえろつとい  
じょう どう え

# 幼稚園だより

安西先生



十月十九日は幼稚園の子供達の、報恩講のお参りで、本堂に行きました。入ったとたんいつものお参りとはやはり雰囲気違います。入り口の足もとには真新しいタイイルで敷きつめられており、また中の戸は全部外されていて、「ろうそく」の灯りが厳肅さをひきだしています。一瞬、子供達もいつものおしゃべりから無口になってます。回りを見れば、いつになくたくさんのおばうさんがいて、園長先生の「衣」も違います。たまにはこんな緊張感もいいなあと思いますが自己満足……

報恩講についての園長先生のお話も子供達には分かりやすく、お部屋に戻ってから、質問してみると、「先生、報恩講って親らん様にありがたうって言う日だよ」という答えが返ってきました。

ごほうびをいただき子供達の報恩講は終わりました。

# 園児募集

- 3年保育…20名
- 2年保育…60名
- 1年保育…10名

申込み受付

平成6年11月9日(水)から

龍谷幼稚園

☎23-0274

# 除夜会

除夜の鐘を  
つきましょ。



12月31日(土)  
大晦日

除夜会法要終了後  
(午後11時30分より本堂にて)

ご家族で、友人同志ではたまた恋人同志でお越し下さい。あたたかい甘酒をご用意して待ってます。

※甘酒協力 仏教社年会

# イキイキ 門徒さん コーナー

今回、仲よく帰敬式を受けられた昭和一丁目の平松正己(ちか)さんとひとみ(ちか)さんご夫婦。受式直後の突撃インタビューです！

「おじいさんの代からずっと帰敬式で法名をいただきますから、私たちが今回受けることにしました」

「まず、西別院の印象はどうですか。」

「久しぶりにお参りしたんですけど、以前よりずいぶん明るくなりましたね」

「帰敬式の感想を聞かせてください。」

「二時間ぐらいかかると思っていたんですが、案外早く終わって、びっくりしました。」

「ご門主さまは、もの静かで、やさしそうなお方でしたね」

「正己さん・ひとみさん、ご協力どうも有り難うございました。一月に一回は別院にもお参りしてください。若い素敵なカップルを心待ちにしています。」



「これからの抱負があれば……」

「一日に一回は、家のお仏壇に二人でお参りしようと思っています」

「最後に何か一言、お願いします。」

# 常例布教

## 【十一月・十二月】

- 十一月 午後一時半(あそか会)
- 十二月 〃 (法友会) 木院
- 十三日 〃 (先真講)
- 十四日・十六日 午後一時半 輪番法話
- 十六日会 午後十二時半 輪番法話

### ●布教使

- 北海道雨竜郡雨竜町 専福寺 萩原 光因 師
- 函館市千代台町 瑞教寺 小松 正樹 師

※なお、毎月十一日は職員、十六日は輪番の法話です。

# 教化サークル

## 【十一月・十二月】



婦人会 (黒田、神田)

- 十一月 二十三日報恩講(午後一時より)
- 十二月 二十三日例会
- 仏教壮年会 (利国、小笠原)
- 十一月 研修会(後日連絡)
- 十二月 十六日三会合同報恩講
- 覚信尼会 (神田、上戸)
- 十一月 例会 研修会(お花)
- 十二月 例会
- ポインスカウト (芝田、黒田、上戸)
- 毎月プログラム発行

### 白蓮会 (利国)

毎月十四日 十二時半より

### 仏教に学ぶ会 (利国、石丸)

毎月八日……お経の練習

毎月二十八日……「御文章」の輪読

十二月八日……報恩講(法話・輪番)

仏教青年会 (芝田、上戸)

十一月十二日 例会 午後七時より

十一月十六日 三会合同報恩講

### ビハークラ (利国、神田)

その都度連絡

### 日曜学校 (黒田、黒田(敬))

十一月 第一土曜日

十一月 除夜会参拝

土曜の会

- 十一月二十六日(報恩講) 午後一時半より
- 十一月二十四日 日吉丁目熊谷宅にて

# 哀悼録

平成六年九月、平成六年十月の間に亡くなられた方々。生前のご苦労お取持ちをお謝し、心より冥福をお祈りいたします。

# 永代経懇志上納者



# お念仏の喜びの華

## 報恩講 スナップ集

# まっ盛りです。



おしーい合祭でした。  
(実際の音声がより一層お祭りを引き立てます)

しんぶんさま、ありがとうございます。服巻功作園児のおまりです。  
(ののさまは、いつでもどこでもいっしょだよ)

前住全生、本田全生、尊いで報告有難うございました。  
(改回のお知らせ本日は電話にてお呼び)

まっさらな朝、肉焼でのおつためです。  
(今日の朝を、迎えられることの有難さ)

法要前の焼定説明

法要前の焼定説明

「御礼のこと」  
・本堂座布団一式……………仏教婦人会様  
・屏風……………勝木文字子様  
・正座イス……………若原トシ様  
以上御寄贈  
いただきま  
す。ありが  
たうござい  
ました。



「おんぶよか、高いよか」と山岸君  
(おんぶでうして大人になってゆくんだよウウウ)



心がこもったお茶は心と体のオアシスです。  
(笑顔が一番の調味料だね)



本番の前に緊張(?)の最中ですが  
(何も言うことはありません)



法要も無事おつためできました。皆さんのお陰です。  
(今年のベストショット、最高の笑顔です)



よろこびの広場、見事！輪番當の伊藤さん  
おめでとうございませう。



本当に素晴らしい立華をだてていただきました。  
(紋別市、一行寺二住職、藤本先生(左)は大変お世話になりました)

### お便り 大募集

仏教に関するご質問等、どんなことでも結構です。  
「お西さん」にてお答えしますので、編集部迄お手紙で  
お寄せ下さい。  
又、詩・短歌・俳句・マンガ等も募集しています。  
どうぞ、お気軽にお便り下さい。

九月八日付で当別院に赴任しました。山岸  
智史と言います。富山県の片田舎から、はる  
ばるやってきました。函館は食べ物もおいし  
くてすばらしい所ですが、早くもこの寒さ  
に身体がまいいっています。  
去年まで学生でしたので、不慣れな事もあり  
ますが、明るく、元気にやっていきたいと  
思います。よろしくお願ひします。

山岸智史

このたび九月十六日をもって退職すること  
となりました。わずか一年余りではございま  
すが、多くの方と知り合い楽しく過ごさせて  
頂きました。  
そして多くのことをご教示下さった皆様に  
心から感謝致しております。  
本当に有難うございました。

窪田隆道

ありがとうございます  
ございました。